

## ゴールドリボン運動の支援団体に寄付金を贈呈

アフラック（アメリカンファミリー生命保険会社、日本における代表者・社長：外池徹）はこのたび、小児がんに対する認知・理解促進を目指す「ゴールドリボン運動」をより一層推進するため、小児がんの支援団体に寄付金（総額：1,464万2,164円）を贈呈しました。

当社は、2006年からゴールドリボン運動の趣旨に賛同し、社員・アソシエイツ（販売代理店）による募金活動やゴールドリボンウオーキングへの特別協賛など、さまざまな活動を通じて、小児がんへの取り組みを積極的に推進しています。

2014年も引き続き同運動を支援すべく、1月にはアフラック社員及びアフラックによって2013年の1年間を通して集められた寄付金（1,372万2,400円）を「認定NPO法人ゴールドリボン・ネットワーク」に贈呈しました。

また、小児がんの子どもたちへの支援を広く呼びかけることを目的に制定された「小児がんゴールドリボンの日（4月25日）」には、2013年の1年間にアフラック社員やアソシエイツが購入した「ゴールドリボングッズ」（下記参照）の売上げの一部（91万9,764円）を同NPO法人に寄贈しました。

■寄付金総額：1,464万2,164円（2013年の寄付金活動分）

■贈呈先：

団体名	活動内容
認定NPO法人 ゴールドリボン・ネットワーク	小児がんの治癒率向上やQOL（Quality of Lifeの略、“生活の質”の意）の向上に対する研究助成や、小児がんの情報提供と小児がんへの理解促進を目的として、2008年6月に設立された団体。 4月25日（4：しょう、2：にがん、5：ゴールドリボン）を「小児がんゴールドリボンの日」として制定し、病と闘う子どもたちに再び笑顔を取り戻してもらうべく、小児がんの現状を理解し、支援の輪を広げていこうと活動している。

■ゴールドリボングッズ（主なもの）：



ゴールドリボンバッジ



ゴールドリボンダック

当社はこれからも社会貢献活動を通して、日本の地域社会に根差した保険会社であり続けます。